

名取市閑上地区 被災市街地復興土地区画整理事業 設計・施工一括型工事

西松建設・鴻池組・佐藤工業・グリーン企画建設・パシフィックコンサルタンツ・オオバ 共同企業体



1 目的・概要

本事業では、東日本大震災により被災された方々の住宅地を供給するために閑上地区の一部を高上げて安心・安全な市街地の形成し、且つ一刻も早い被災者の生活再建が求められています。その一方で当地区の工事施工においては、現地盤を嵩上するための大量の土砂搬入や、地区内を通る交通量約1万台/日以上以上の県道の交通を止めずに迂回路造成による工事展開が必要不可欠であり、工事目的物の品質確保・現場や周辺住民への安全配慮はもとより、被災された住民の心情に配慮した、適切な工事の進捗管理が喫緊の課題となっています。このような状況から本事業においては技術力・専門的な知識を有する者を選定する必要があることから、設計施工一括公募型プロポーザル方式による発注が行われました。また、この地では名取市が宮城県に委託しがれき処理業務も行われ、迅速な処理対応により復旧の先鞭を付けることができました。



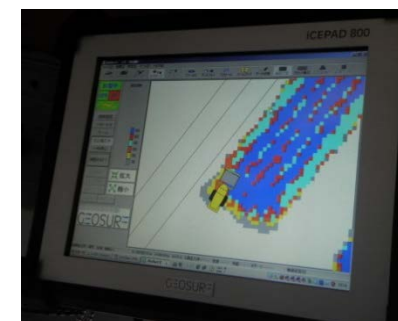
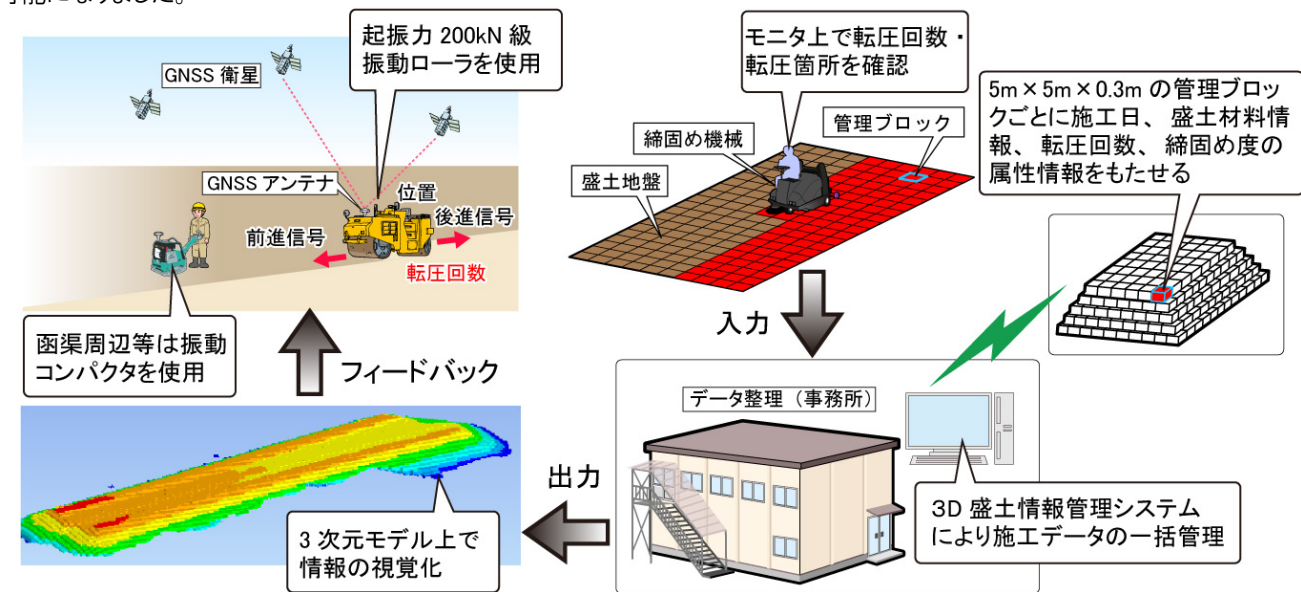
平成 26 年 12 月現在



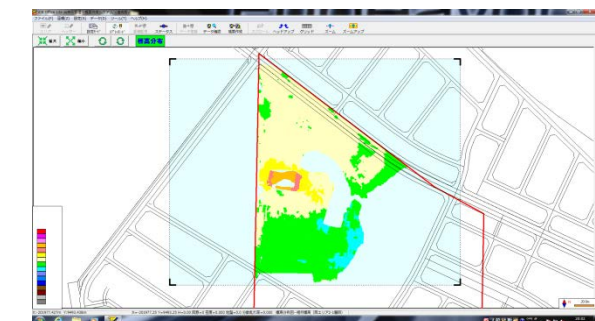
平成 30 年 完成予想図

2 現場を支える技術

地盤というものは、重量のある大型機械によって振動をかけながら締固めなければ強固な地盤は築けません。しかし、適切に且つ安定的に締固める為には、GNSS(全地球航法衛星システム: Global Navigation Satellite Systems)の力を借りて、作業を行った場所と高さ、適切な転圧回数をすべて自動的にコンピュータにより管理し、品質確保につながる見える化が可能になりました。



各振動ローラへ搭載したタッチパネルモニター



各振動ローラのデータを集約する事務所のパソコン画面

3 工程・スケジュール

月 日	平成26年度(2014)			平成27年度(2015)			平成28年度(2016)			平成29年度(2017)											
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
事業の推移																					
【準備工】																					
基本測量境界確認																					
既設構造物撤去 (不明者捜査含)																					
県道切廻し(1)~(3)																					
【本体工事】																					
盛土工事																					
インフラ工事																					
戸建建築																					
集合建築																					

KEY PERSON

震災から4年が経とうとしている中、未だ閑上では16名が行方不明となっております。その閑上の皆様の思いを踏まえ、全力で復興に取り組んでいく所存でございます。不明者捜索を含めた数々の課題は山積しておりますが、効率的な既設構造物の撤去や、1,000台/日(ピーク時)の購入土搬入など、詳細な時期的目標を常に設定し、その目的に向かって一つ一つ課題をクリアして参ります。それにはJV職員を含め関係者全員の一致団結したコミュニケーションが不可欠です。

西松建設・鴻池組・佐藤工業・グリーン企画建設・パシフィックコンサルタンツ・オオバ共同企業体

統括管理技術者
田中 壮

